

1997  
6 月号  
JUNE  
No. 323

花と緑と水のまち  
広報  
みまた

消防団員130名が参加した救急法の  
研修の様相  
(5月28日 三股勤労者体育センター)



いきいきさん (12)

母のやさしさ

今も感謝しています

山之内 節子さん



梶山にお住まいの山之内節子さん(68)は、現在、9つの教室で40名の生徒に三味線と民謡を指導する一方、十数年前から鹿児島県末吉町の特別養護老人ホーム「無量寿園」を毎月2回、また、町内の福祉施設なども毎年訪問して、ボランティアで公演されています。節子さんが、三味線を習い始めたのは、昭和19年、15歳の時。母親の迫田トノさんから、三味線を渡され、当時、隣に住んでいた、目の不自由な佐沢ソメさんの手ほどきを受けるよう勧められてからです。「私の家は、12人の大家族で、毎日の食べ物にも困るほど貧しい生活でした。そんな生活の中で、母は父の厳しい目を盗んで、よくも高価な三味線を買ってくれたものだとも思います」。

と、工場で働くかたわら、週4回、都城にあった教室に通う生活が始まりました。「教室へは、午後7時前のバスで行ったり、たまには、自転車を通うこともありましたね」。

練習の成果が実を結び、昭和61年に民謡、昭和62年には三味線の師範の資格を相次いで取得。同年8月に、鹿児島市内で開かれた第5回民謡鹿児島九州大会では、優勝の栄冠を手に入れました。

これから、三味線や歌を生業にして、世話になった分、親孝行をしようと思っていた矢先、母親トノさんが病に倒れ入院。平成4年3月、95歳にして亡くなるまで、床に伏した状態が続いたそうです。

「母は、私が教室を持ったことを誰よりも喜んでくれました。今思うと、それが母の夢だったのでしょうね。私は、寝たきりの母の看病に、誠心誠意尽くしました。今でも悔いはありません」。

「私に三味線と民謡を与えてくれた母。その優しい気持ちに応えられるよう、私は健康である限り、必要とされれば、どこへでも行って、演奏したいと思っています」。

節子さんの三味線からは、人生の熱い思いが深く響いてきます。

編集後記

●今月号に登場していただいた皆さんは、何事にも屈しない強い精神の持ち主だと実感させられました。その強い精神の基は、それぞれが抱いている「夢」への挑戦です。どんなに小さなことや、また、かないそうもないことでも、「夢」を持ち、一歩一歩、その目標に向かって努力することが大切です。そのことは、きっと楽しい人生につながるでしょう。

●6月は衣替えの季節。そこで、今月号から表紙を一新しました。表紙だけの広報紙にならないよう、中身の充実を徹していきたいと思いますので、ご愛読のほどお願いします。 M・Y

身近な話題や広報紙に対するご感想、ご意見などございましたらお知らせ下さい。

三股町の人口

平成9年6月1日現在

男	11,248人	出生	32人
女	12,452人	死亡	17人
計	23,700人	転入	105人
前月比	+ 58人	転出	62人
世帯数	8,398戸(+26戸)		

役場総務課秘書広報係  
☎52-1111 内線222



特集

古紙リサイクル、危機  
まず在庫抱える業界

「紙は捨てるに回収して...」という言葉をよく聞かれます。回収された紙は、再生紙として再び紙に生まれ変わります。しかし、再生紙の需要は年々増加しており、再生紙の供給が追いつかなくなっています。再生紙の供給が追いつかなくなると、再生紙の価格が高騰し、再生紙を利用している業界は大きなダメージを受けます。再生紙の供給が追いつかなくなると、再生紙の価格が高騰し、再生紙を利用している業界は大きなダメージを受けます。

「家庭で保管を」  
地球温暖化防止を訴える

環境省が主催する「地球温暖化防止を訴える」キャンペーンが、10月に全国で展開されています。このキャンペーンは、地球温暖化防止のために、家庭で資源を有効活用することを呼びかけます。資源の有効活用には、資源の回収が重要です。資源の回収は、資源の有効活用を促進し、地球温暖化防止に貢献します。

これが  
資源が  
透明性が

生ごみ処理

生ごみ処理は、資源の有効活用を促進し、地球温暖化防止に貢献します。生ごみ処理には、資源の有効活用を促進し、地球温暖化防止に貢献します。生ごみ処理には、資源の有効活用を促進し、地球温暖化防止に貢献します。

年ぶり増へ回収率

資源の回収率は年々増加しており、資源の有効活用を促進し、地球温暖化防止に貢献しています。資源の回収率は年々増加しており、資源の有効活用を促進し、地球温暖化防止に貢献しています。

「ごみ減量は意識が大事」



リーダー育成研修で  
江尻京子さんが講演

江尻京子さんは、資源の有効活用を促進し、地球温暖化防止に貢献しています。江尻京子さんは、資源の有効活用を促進し、地球温暖化防止に貢献しています。

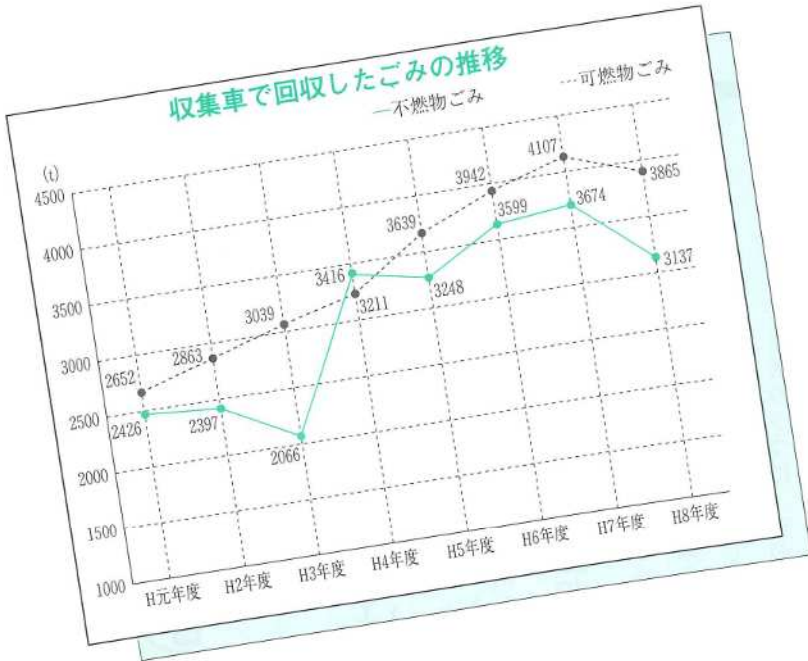
ごみ対策はあなたが主役

私たちの家庭から1千トン

私たちが普段、当たり前のように捨てているごみ。一人が出すごみの量は、ちっぽけでも、これを町全体にするとどれくらいになるのでしょうか。

役場町民生活課では、平成8年度中に各家庭などから処分場に出されたごみの量は、およそ9千トン（一人あたり年間380kg、一日に約1kg）にも及ぶと推測しています。

その内訳は、ごみ収集車で回収される可燃物（燃やせる）ごみが約三千八百六十五トン、不燃物（燃やせない）ごみが約三千三百三十七トン、その他、個人で処分場に持ち込むごみが約千九百五十四トンです。ちなみに、国内における一般廃棄物（ごみ）の排出量は、平成5年度中で約五千三百万トン。あの大きな東京ドームの約百三十五杯分にもなるそうです。





地球環境に対する関心の高まりを背景に、地域での集団回収を中心としたリサイクル活動が活発化しています。

# リサイクル Recycle

捨てるのではなく、再生することが大切

## 古紙を159ト回収

前頁のグラフを見ても分かる通り、平成8年度のごみの量は、前年度より少なくなっています。その理由の一つに、資源ごみのリサイクルが上げられます。

現在、町内には、14の自治公民館に17箇所（別表参照）の資源ごみ回収場が設置され、定期的に資源ごみを回収しています。

回収の対象とされる物は、空き缶や古鉄などの「金属類」、ガラス製の「びん類」、新聞紙や雑誌ダンボール、牛乳パックなどの「古紙」、洋服などの「古布」と4種類。毎月第2日曜日を古紙と古布、第4日曜日を金属類とびん類の回収日と定めています。

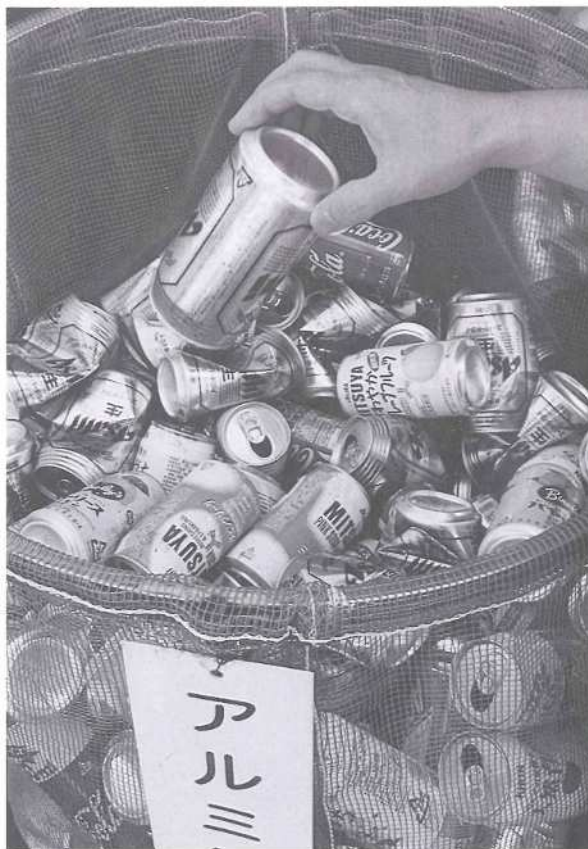
また、小中学校の児童会、PTA、各種民主団体などが、町に

「資源ごみ回収団体」として登録し、廃品回収の一環で、資源ごみの回収を行なっています。

町は、こうした資源ごみの回収実績に応じて、補助金を交付しています。

それでは、年間の回収量は、どのくらいなのでしょう。

町民生活課によると、平成8年度の実績は、古紙で約159ト、古布で9ト、空き缶で約35ト、古鉄で約1・5ト、ガラスびん約十六万一千五百本、栄養ドリンクなどの駄びん約35・6トでした。また、町からそれぞれの団体に交付した補助金は、百七十八万三千五百八十三円でした。



## ご利用ください資源ごみ回収場

資源ごみは、捨てないで、各家庭で分別して、定められた日にお近くの回収場か町の一般廃棄物最終処分場（クリーンヒルみまた）へ持ち込んでください。

量や資源の有効活用に役立ち、エネルギー消費の抑制にもつながります。

皆さんの心がけ一つが、ごみ減

役場町民生活課  
☎5211111 内線112

（別表）町内の資源ごみ回収場

地区	場所
山王原	わかば保育園北側空地 山王原児童館 第1地区公民館
仲町	三股町研修センター
谷	谷精米所
小鷺巣	小鷺巣集落館
勝岡	旧6地区公民館隣
蓼池	蓼池児童館
三原	三原コミュニティーセンター
上新	新馬場児童館隣
下新	7地区公民館 消防団第7部詰め所東
今市	今市児童館
中原	中原第3団地内北側広場
花見原	花見原コミュニティーセンター
東原	五本松団地内集会所
植木	スマイルタウン自由ヶ丘公園



## ヨーロッパ4カ国体験レポート

池辺 美子さん(17)

# 日本のごみ対策は心配、でも私はやります

普段、紙だと思っているものがアルミだったり様々でした。

私達は、ごみ分別が幼いころから習慣づいていません。日本人のほとんどの人が、ごみの分別ができないのではないのでしょうか。それに対し、スウェーデンでは、幼いころからごみの分別の必要があるので、ほとんどの人が容易にごみを分別できます。

これを機会に、研修参加者全員がごみの分別のパターンを学びました。ちなみに、パックジュースのパックは、プラスチックに分類されます。

このように環境への意識の高さは、若い世代にも見られました。高校生から加入できる環境保護団体、『Q2000』には関心させられました。この団体は、保護活動や、行政への直接交渉を行

なっています。

私は、これを聞いて、「そんなことができるわけがない」「そんな若者の意見を行政が相手にするはずがない」と思ったのです。

しかし、この団体の話では、行政側は、突然の意外な若者たちの意見に、かえって新鮮味を感じ、真剣に対応してくれると言っていました。この話を聞き、私達も、実行できるのではないかと思えました。私達に必要なのは、交渉す

る勇気があるかどうかだけです。

この他にも感動したことは、数えきれないくらいありました。日本では理想とされていることが、あたり前のように実施されたり、日常では考えられないことが行われている光景を目の当たりにしました。

このことから、日本人の環境に対する意識の低さを実感し、今後の日本の環境対策の行方が急に心配になりました。

しかし、今の私には、自分の住む地域だけは、守っていける自信があります。この旅でつけた自信です。

三股は好きです。特に、生まれてからずっと見てきた長田は、もっと好きです。自然満々のこの三股を大人になってもずっと誇りに思っていられたら幸せです。

WWF本部玄関にて





# シリーズ 町の歴史

## 三股の50年を探る

(その3)

三股の議会制度が施行されたのは、明治22年。当時の議会の議決事項は、監督官庁の許可を得て、効力を発するというものでした。昭和22年、地方自治法の改正によって、ようやく中央集権体制から民主的的分権制度へと変わりました。三股に選挙管理委員会が設置されたのは、昭和21年9月のことで、その翌年の昭和22年4月に、新しい選挙制度のもとで、第1回統一地方選挙が実施、26名の議員が誕生しました。昭和23年5月、町制が施行され「三股村議会」は、「三股町議会」と名称が変更。昭和26年4月、第2回統一地方選挙において、議員定数が18名となり、以来、改正されることなく、現在に至っています。今月号では、昭和30年4月から平成3年3月までの9期、36年にわたって町議会議員として活躍された、仮屋にお住まいの馬渡平男さん(83歳)に、町議会のことやこれまでの思い出などについて話を伺いました。



上京した時の写真(昭和40年)  
左から馬渡さん、当時の町長大河内氏、瀬戸山代議員

**問** 帰郷されてからは、どんなお仕事に従事されたのですか？

**馬渡** 農業に精を出しました。といっても、開拓中心です。

当時の長田地区は、戦地からの引き揚げなど入植者が多く、開墾のために、みんな一生懸命でした。そのころ、開拓組合が結成されました。

**問** 現在、茶の栽培を行なっておられますが、いつから取り組まれたのですか？

**馬渡** 昭和35年のころです



昭和38年の町議会の模様

**問** 馬渡さんは、戦前、陸軍に所属されていたそうですね。当時のことについてお話ししてもらえますか？

**馬渡** 私は、昭和10年に陸軍に入隊して、台湾へ渡り、その後、数々の激戦を体験しました。昭和17年には、東京にあった航空士官学校に入り、資格取得と同時に卒業しました。その2年後、陸軍大尉に昇格して、東京で終戦を迎えました。あと3ヵ月、終戦が遅れていたから、今の私はなかつたんです。

**問** 終戦後、三股へ帰郷されたのですか？

**馬渡** はい、そうです。昭和20年9月に、軍隊を除隊し、汽車に乗って三股へ帰郷しました。途中、汽車の中から、原爆によって焼け焦がれた広島市街地を見た時は、戦争の悲惨さを痛感しました。

区の家は、45戸でした。今では、想像もできないことですね。

**問** 議員時代の一番の思い出は何ですか？

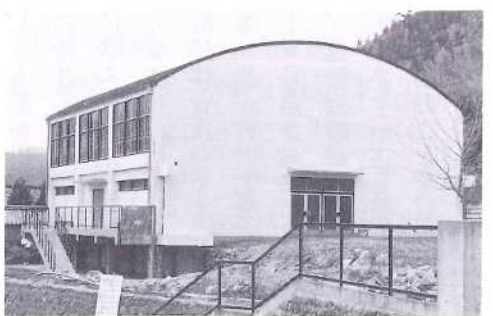
**馬渡** いろいろありますが、中でも昭和41年3月に完成した長田小学校の体育館にまつわる話が一番ですね。体育館建設の陳情のために上京したところ、当時の小児児童数では、小さな施設しかできないことが判明しました。そこで、三股中学校の生徒も体育館を利用することを条件に、1年目に小学校の体育館建設費、2年目に中学校の体育館建設



馬渡平男さん  
大正3年3月13日生まれ  
昭和30年4月、町議会議員初当選。第5代・10代・12代の3期、8年間、町議会議長に就かれ、平成3年4月、議員を退職。  
町監査委員、長田土地改良区理事長、町土地開発公社理事などの数々の要職も歴任。  
平成4年5月、地方自治功勞により、勲五等双旭日章を受章。

**問** 昭和30年の選挙運動はどのようなものでしたか？

**馬渡** 当時の選挙運動は、私を先頭に応援者20人ほどがそれぞれ自転車に乗り集団になって、紙製のメガホンを片手に町内を廻りました。当時は、道路は舗装されていないところが多く、また、4月だったので雨の多い時期、まさに体力勝負でした。確か、そのころ、植木地



完成した頃の長田小体育館

**問** 長い議員時代を、いま振り返られますと、どんな思いがいたしますか？

**馬渡** 私が、議員になったのは、私自身に課せられた使命だと思っていました。苦労だったとは思いません。36年の議員生活は、多くの方々の期待に応えられよう、ひたすら町の発展を願って頑張ってきたつもりです。

**問** 最後に、これからの三股町に対するご意見をお聞かせください。

**馬渡** 今、世の中は、目まぐるしく変化していますが、それに惑わされることなく、町の将来像をしっかり描き、時代にマッチした魅力ある三股町を築いてほしいですね。その中で特に、女性の活躍を期待いたします。



## ■ 紙面国際交流コーナー ■

# 梅雨のうっとうしさ

網かけの部分が英文にしております。

中学生、高校生の皆さん英文を訳してみましょう！



ジェーン・ウィリアムス

梅雨の季節は三股で2回目の梅雨を迎えます。イギリスには梅雨という季節が特にありません。何週間も雨が降り、灰色の低い天井が毎日続くという事は、私が知っている在日外国人のイギリス人の中では好きな人は一人もなくて、「一番嫌な季節だよ」と良く言ってくれます。

天気は人間の気持ちに影響を及ぼすということは誰でも分かります。スカンジナビア諸国の北の方は北極と近く、夜の闇と昼の光とはそれぞれ半年ずつ続くという状況です。どこかで読んだことなのですが、フィンランドの北部には孤立した生活を送る人々が多く、6カ月間の闇の間に、自殺事件がいきなり増加してしまっ、大きな課題になりました。

梅雨の経験がないイギリス人は、初めて経験すると、憂鬱な雰囲気がよく漂ってきて、家に閉じこもる傾向がやや強くないではないかと思ひます。フィンランドの場合とはもちろん比べものにはなりません、やっぱり天気の影響の程度は様々です。

私は初めて日本に来たのが7年間前の19才の頃で、梅雨の体験も初めてでした。こちらの梅雨の初期にはイギリスは日が益々長くなり、日照時間も多く、雨の少ない時期だと言えますので、ここの梅雨を迎えると、自分が慣れてきた自然な循環が逆さまになってしまったという気がします。梅雨の間に街で陰気な顔をしている外国人を見掛けたら、原因は以上の通りかもしれ

ません！

話しは変わりますが、最近イギリスの全国選挙で労働党が与党になって、18年間ぶりに政権を握りました。新しい首相の名前はトニー・ブレアと言ひますが、この頃、北アイルランドに対して画期的な発言をしました。

約150年前にアイルランドにはジャガイモの飢饉が発生し、百万人ぐらゐが亡くなって、大勢の人がアメリカに逃げて行きました。当時は、イギリスの政府は手だしをせずただ傍観するだけでした。その時からイギリス人は勿

論アイルランド人の恨みを買ひましたが、ロンドン政府はずっとその事件について正式に謝ったことがなかったのです。しかし、つい最近ブレア首相は『当時のロンドンに在る政治家は傍観することで責任を怠りました』と発言しました。保守党とは違って、北アイルランドの扱ひには柔軟性が現れてきました。ブレア首相は政権を握ったばかりの間に、いろんな良さそうなことを言い出すのが当たり前だと思ひますが、イギリス人は首相の言葉に継ぐ行動を待っています。

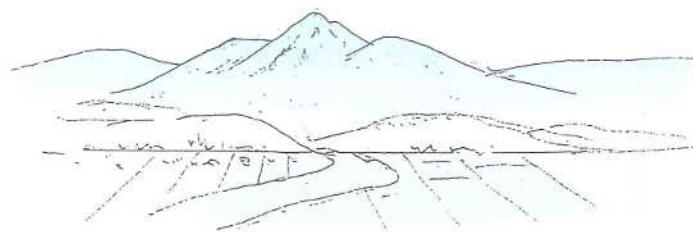
### Let's Have a Go

Recently in the British general election the Labour party came to power again after eighteen years. The name of the new prime minister is Tony Blair and recently he made an epoch-making statement concerning Northern Ireland.

About 150 years ago a potato famine broke out in Ireland. One million people died and many fled to America. At the time the British government stood by and did nothing. Of course the English made enemies of the Irish over this but the London government has never formally apologised for this incident. However only recently Tony Blair said, "the London politicians at the time failed their people."

In contrast to the Conservative party, their handling of Northern Ireland has become more flexible. Having just come to power it is natural that Blair should make inviting statements. The English people are waiting for the action which follows words.

## ふるさとへの便り



### 加覧勝蔵 (54)

(東原出身)

6月ともなると、初夏の香りと共に毎日うっとうしい日が続き、肌を射す様な日差しがあると、冷え込んだりそんな毎日を大阪の地において、故郷では今頃田植の準備に忙しいんだらうなと思ひながら、三股町の人々の生活ぶりを勝手に想像している今日この頃です。

三股町の皆さん御元氣ですか。私は東原出身の加覧と申します。

現在、町役場の近くに長男夫婦が生活しております。近所の皆様には何かと御世話になっておると思ひます。紙面を御借り致しまして今後共宜しくお願い致します。

五月末日に近畿三股会々長の野崎さんよりふるさとへの便りについて話がありましたので、返事はしたもののいざ原稿用紙に向かいますと、何んと書き出したらいいかとまどう事ばかりです。

私は、昭和36年に高校卒業と同時に東京の建設会社に就職が決まり、その年の4月10日に都城発13時37分、東京に翌日の16時8分に着く急行高千穂号に乗って、26時

間30分かかって上京しました。その時は、指定席が取れず、通路に立って、夜になるとスーツケースを枕に床には新聞紙を敷いて、仮眠しながら上京した事を覚えておます。東京に着くと四角のスーツケースが菱形になって、がっかりしたものです。

入社して10年後、昭和50年に大阪において、河川開発株式会社を設立、現在に至っております。

家族は、妻53歳、長女26歳、次女23歳、子供達はそれぞれ社会人となって独居しております。

三股町で生まれ、三股町で教育を受けて、何よりも健康第一と口癖のように言っていた今は亡き父や母に、今さらながら有り難く感謝する次第です。

古き良き時代の話になりますと、何んと言っても早馬神社の祭りです。半世紀たった今でも、忘れてないのが神社の祭り唄です。へ早馬神社の景色は、下は道路で馬車の音、はるか遠くをながむれば……。

ここまでしか覚えておりません。その先の



右から2番目が加覧勝蔵さん

詩をどうしても思い出せないのです。町民の皆さんふるさとへの便りを機会に教えてもらえませんか。秋になりますと、11月3日、文化の日の町民体育大会です。私が中学生の頃、我が村の名譽にかけて、大会1ヶ月前からお年寄りも子供達も、運動会の練習をした事を思い出します。古き良き時代とは、この時期のことを言うのでしょうか。

私は、帰郷しますと、必ず立寄る処があります。そこは細目の溪谷です。そこに行きますと、たちまち40年前にタイムスリップしてくれるからです。木立や清流、山の形、狭い砂利道、子供の頃に見た景色は何一つ変わっておらず、へ兎追ひし、かの山、小鮒釣りし

かの川、夢は今もめぐりて……。愛唱歌の「ふるさと」そのままの

溪谷があるからです。

今では父も他界し、母も4年前に亡くなり、三股在住の兄や叔父、姉、甥、姪達があり、帰郷するといつも温かく迎えてくれます。何と云っても、叔父や兄達と焼酎を酌み交わす事です。古里での焼酎の味は又格別です。

最後になりましたが、来年は町制施行50周年を迎えるにあたりまして、豊かな自然に育まれながら、生活されている町民の皆様の健康と更なる三股町の発展を祈りまして筆を置きたいと思ひます。何とも取り留めのない便りになりましたが、これで失礼致します。

次回は、水流園隆志さん(植木出身)にリレーします。





町の活性化を目指して

町では、6月6日、役場会議室で、自治公民館、商工会、婦人会をはじめとする民主団体の代表者約40名の出席のもと、平成9年度新ひむかづくり運動総会を開きました。

総会では、今年度も、昨年に引き続き、花いっぱい運動、あいさつ運動、青少年健全育成活動の3つの柱を掲げ、各種事業に取り組むことを決議。

中でも、今年度は、11月に本町で県南地区15市町村の交流会を予定しており、ネットワークの充実や新しい時代に向けた郷土づくりについて協議します。

思わぬ1発に歓声が響く

第16回三股町長杯ゲートボール大会が6月9日、旭ヶ丘運動公園ゲートボール場で開かれました。

大会には、町内8チーム41名が参加。予選リーグ、決勝トーナメントとも熱い戦いが繰り広げられました。

大会参加者で最高齢の福永松雄さん(92)は、1日3時間、週6日は練習に通うということで「今日は、まあまああの出来です」と話されました。

なお、上位3チームは次のとおり

- 第1位 勝岡チーム
- 第2位 東原チーム
- 第3位 蓼池チーム



設立10周年を祝う

蓼池グランドゴルフ愛好会(会長 永吉実治 会員73名)は、今年、設立10年を迎えたことから、5月14日、蓼池多目的広場で記念大会を開きました。

この日、参加したのは、男女合わせて66名、それぞれに自前のボール、スティックを持参し、日ごろの成果を競いました。

大会では、男女それぞれ上位3名に楯と賞状が、また、男性上位10名、女性上位15名に記念品が贈られました。

大会終了後、会場を移して祝賀会が開催され、これまでの思い出話に花が咲き、1日中にぎわいました。



駅前周辺の活性化を目指して

5月8日、役場会議室で、三股駅前活性化ビジョン実現化事業報告会が、町と商工会などの関係者17名の出席のもと開かれました。

報告会では、商工会を中心として結成されたビジョン実現化委員会(委員長 東村和住)から、昨年度、1年間にわたって作成した計画案が報告。

その内容は、魅力的な商業地の形成と駅前の環境整備を含んだもので、早期実現を目指すものです。

町は、この報告を受け、今年度、計画書を審議し、内容の見直し等に着手します。



色鮮やかなサツキを展示

町の花である「サツキ」を展示した「第2回さつき花季展」が、5月30日から6月2日までの4日間、稗田のひろせ本店で開かれ、たくさんの来店者の目を楽しませました。

この催しは、サツキをもっと町民に普及しようと、本町の霧島盆地さつき会(会長 時任藤保 会員17名)が主催したもので、晃山、光琳、華宝などの旧花を中心に56鉢が展示。中には、樹齢100年を越えるものもあり、注目を集めていました。



歌や踊りに大喜び

今市の主婦ら7名で構成する趣味の会(会長 川畑勝)は、5月14日、特別養護老人ホーム「三光苑」(苑長 島田亀男 入苑者50名)を訪問して、歌や踊りを披露しました。

この日、苑では5月の誕生会も行われ、入苑者は、披露されるダンスや日本舞踊、民謡、カラオケに大喜びの様子、大きな拍手を送っていました。

なお、趣味の会は、今年で3年目を迎え、今回の訪問公演は初めてです。

川畑会長は、「皆さんが喜んでくれて、満足です。これからも続けていきたい」と述べていました。

中西さん、法務大臣感謝状を受賞

仲町にお住まいの中西初子さん(77)は、永年の更生保護活動の功績が認められ、このほど法務大臣感謝状を受賞。5月28日、東京イイノホールで開かれた「第34回全国更生保護婦人の集い」で表彰されました。

中西さんは、現在、町更生保護婦人会会長、都城北諸県郡の会長で、青少年の非行防止、刑務所などの施設収容者に対する更生激励や家族の援護のほか、社会を明るくする運動などに積極的に努めておられます。

なお、今回の表彰式では、全国で1団体、89名が受賞され、県内では1名でした。



検診に行くのは、楽しいな

5月15日、健康管理センターで実施された3才児検診で、ぶどうの会(代表 西畑直子)は、ボランティアによるお話の会を行いました。

この試みは、検診をいやがる子供が多いことから、少しでもその気持ちを和らげてやろうとしたもので、この日、訪れた約30名の子供達は、絵本の読み聞かせやみんなでやる手遊びゲームに夢中でした。

その様子にお母さん達の間からは「こんな催しがあると子供が検診を嫌がらずにすみます」と大好評でした。

なお、ぶどうの会では、毎週水曜日、午前10時から中央公民館において、お話を実施しています。興味のある方は、お子様連れで尋ねてみてはいかがでしょうか。





# Library Information

図書室だより  
No. 111

## 新刊図書の紹介

**【一般向】** きょうは変な日魔法の日 石原 由理  
夢にも思わない 宮部みゆき  
日暮れ竹河岸 藤沢 周平 ほか9冊  
宮崎旅行の殺人 山村 美紗 ほか10冊

**【幼児向】** きんぎょがにげた 五味 太郎  
はじめてのおつかい 筒井 頼子 ほか5冊

**【小中学生向】** うそつきトモダチ 高山 柴子  
さち子と白いきつね 堤 亮二

## 7の休館日

	日	月	火	水	木	金	土
I			1	2			
II		7	8				
III		14	15				
IV	20	21	22				
V		28	29				

※数字は休みの日

## お知らせ

### ○映画会の開催

4月26日に実施した第1回目は、約70名の参加がありました。

7月は下記のように実施しますので、ぜひ参加してください。

■日 時 夏休み期間中の毎週木曜日  
午後2時～

■場 所 中央公民館2階

■内 容 幼児から小学生向けアニメ

### ○夏休み特別企画親子土曜ナイトシアター

土曜日の夜、五本松公園で実施。親子で参加してください。

■日 時 7月26日(土)午後7時30分～

■場 所 五本松公園(役場西隣)

※雨天時 中央公民館2階

### ○ご意見、ご要望は図書室へ

現在、三股町では総合文化施設の建設準備中です。特に、図書館では今後2年間で3万冊以上の本を購入する計画です。そこで、町民の方々からこういった本を購入してほしいという要望があれば中央公民館図書室までご連絡ください。

三股町中央公民館図書室

☎52-1111

## 多読賞おめでとう

子どもの読書週間(5月1日～14日)にちなんで、多読賞の表彰式が5月10日、中央公民館で行われました。

これは、過去1年間に読んだ本が75冊以上に達した児童が対象で、今回は、小・中学生44名が表彰されました。

特に、三股小4年の前田いずみさんは、675冊の本を読み、多読対象として表彰されました。



表彰される子供たち



## Aランクに34箇所を指定

長雨や台風などの集中豪雨に備えようと、町では6月6日、町内に点在する急傾斜地やため池などの災害危険箇所を調査しました。

調査には、自衛隊や消防関係者、警察官、土木事務所職員、地元代表者など45名が参加。最も危険とされている箇所を中心に、位置や地形、危険の程度などを確認し、今後の対策について協議を行いました。

調査の結果、急傾斜地61箇所、土石流40箇所、地すべり6箇所、ため池5箇所の計112箇所を危険箇所指定。このうち、34箇所を危険度の最も高いAランクに指定し、大雨などの際、常に警戒することを参加者全員が確認しました。

## 東高校、日本善行会賞に輝く

都城東高校(二見厚雄校長 生徒989名)の青少年赤十字(JRC)クラブ(部員 32名)は、社団法人日本善行会が主催する平成9年度青少年善行団体賞に選ばれ、5月24日、明治神宮参集殿で表彰を受けました。

同校クラブは、昭和45年4月に設立。以来、特別養護老人ホームを訪問し、車椅子の修理や施設の掃除など積極的にボランティア活動を展開しています。

なお、今回の表彰は、昭和63年度に引き続き2回目で、平成3年6月から視覚障害者向けに行なっている「広報みまた」のテープ録音、通称「声の広報紙づくり」が評価されたものです。

同校2年で部長の渡辺ゆかりさんは、「これを機会に、更にボランティア活動に頑張ります」と話しました。



## 『私と図書館』

No.3



有馬 崇さん

今回は山王原にお住まいの有馬崇さん(36)を訪ねました。有馬さんは12年前に交通事故にあい、現在は山王原のご自宅で車イスでの生活をおられます。

Q 図書館や本について何か思いがありますか。

A 本を読むことで感動したり、悩みが和らいだり、勉強したりと、人生が豊かになるのではないのでしょうか。そして、自由に本を借りられるところが図書館ではないのでしょうか。

Q 新しい図書館の建設準備中ですがどういった図書館を望みますか。

A 障害者や高齢者など図書館まで行かれない人のために自宅からパソコンで検索できたり、本を家まで運んでくれるようなシステムを希望します。

Q これまで図書館を利用されたことはありますか。

A 中学、高校の頃は友達とたまたま行っていました。でも、利用というより受験勉強が主でしたね。

## 前田選手、県大会で大会新

5月24日、25日の2日間、県総合運動公園を中心に開かれた第51回県民体育大会に、町からは15種目124名が北諸県郡の代表選手として出場し、大活躍しました。

中でも、陸上競技3,000m(50歳以上59歳以下)に出場した、今市の前田利保さん(56歳)は、自身の持つ大会記録を5秒上回る9分34秒37の好タイムで優勝し、同種目4連覇を果たしました。

その成績に、前田さんは「まさか、大会新を出せるとは思いませんでした」と満面笑みを浮かべ話されました。

なお、その他の種目で第3位までの入賞した本町出場選手は次のとおり

☆ボウリング(40歳代) 第2位 上村節雄

☆カヌー(ワイルドウォーターの部)

第3位 小野基宏





### 募集

第2回「童謡まつりinみま  
た」参加者募集について

昨年、好評を博した童謡まつりが今年も開催されます。幼いころ口ずさんだ童謡やわらべ歌をご家族、友人、グループお揃いで歌ってみてはいかがでしょうか。

■日時 10月26日(日)

午後1時～

■会場 三股西小学校体育館

■参加資格

町内外を問わず2名以上の団体

■申し込み方法

参加負担金千円を添えて直接、町教育委員会生涯学習課に申し込んでください。

■申し込み期間

6月30日(月)～9月16日(火)

※先着30団体になり次第締め切ります。  
■問い合わせ先  
町教育委員会生涯学習課  
☎52-1111内線353

### 地域ユースフォーラム

(CYF)実行委員募集

ボランティア活動、社会参加活動、スポーツレクリエーションなどに参画し、青年としての在り方生き方を学んでみませんか？

町内に居住、勤務する方で、地域ユースフォーラム(CYF)実行委員として頑張っていたただける方を募集しています。

■問い合わせ先

町教育委員会生涯学習課

☎52-1111内線352

### 放送大学宮崎地域学習センターの学生募集について

放送大学宮崎地域学習センターでは、平成9年度第2学期の学生を募集しています。放送大学は、地域の生涯学習の要望に応えることを目的に国が出資して設立した正規

の大学で、学生数は全国で約六万六千名です。

十八才以上であれば、どなたでも入学試験なしで入学できます。

●出願締切 8月15日(必着)  
●無料の体験学習も実施します。

●平成10年1月に全国(衛星)放送開始予定!

●資料請求・問い合わせ先

放送大学宮崎地域学習センター(日向市)

☎0982(53) 1893

### 催し

#### まじりしまんぢだ

(1市6町の行事紹介)

●山之口町

○村おこし朝市

■日時 7月13日(日)午前6時

■会場 JR山之口駅前広場

■内容 新鮮農産物販売

■問い合わせ

役場企画開発課

☎57-3111

●高城町

○'97高城ロマンフェスティバル

(株)偶會 14名

聖天(株) 27名

宮崎ジデコ 35名

4月18日

大悟病院 64名

(株)測腸組 63名

5月14日

J A 三股支所 12名

とまり医院 32名

5月15日

三股さつきライオンズクラブ 120名

7月1日(火)～9月30日(火)

場所 観音池公園東側

■問い合わせ

ふれあいセンター

☎58-6139

●末吉町

○第7回力ヌー大会

■日時 6月29日(日)

午前8時30分～

■会場 大淀川特設会場

■内容 各種レース大会

■問い合わせ

役場社会教育課

☎76-1121

●献血協力

○4月10日

## 三股中学校創立50周年記念情報

### 記念式典・祝賀会 ついに決定

創立記念式典および祝賀会の日取りが12月6日(土)に正式決定しました。

当日は、式典並びに記念講演を午前中に、祝賀会を午後

に計画しています。なお、祝賀会は、一般参加者を募りますので、多数のご参加をお願いします。細かいことについては、後日案内いたします。

### 記念講演に 北別府 学氏

都城農業高校から広島に入団し、最後の二百勝投手といわれる北別府学氏を、講師として招き、記念講演が開かれます。

この偉大な北別府氏の講演を生徒たちが聞いて、彼の生き方や人生観から、何かを学び取ってくれることを期待しています。

### 風雪に耐え巖かに立つ 「白亜の門」

校歌の一節にあるように、昔の門柱は、文字通り「白亜の門」でした。

しかし、現在は、先端部分がくすんでいたり、欠けたりして、立ち止まり、眺めるほどの気品もありません。

今回の50周年を機会に「白亜の門」によみがえるよう修復に期待しています。

白亜の門を日々通りながら、校歌の続きにあるように、常にさとく常に明るく

一瞬のまよいを見ず ああ賢明の子三股われらでありたいと願うものです。



### 歳時記

六月灯といえば、旧薩摩藩領に古くから伝わり、都城・北諸原郡内の夏をいろどる伝統行事。

19代藩主・島津久光が、観音堂の落成祝いに灯籠を寄付。これにならって家臣や領民も灯籠を寄付したことに始まるといわれ、毎年、旧暦の6月(現在の7月中旬

以降)に催しが行われていることから「六月灯」と呼ばれるようになったようです。

7月中旬といえば、梅雨が明けて夏の盛り。牛馬の病気が大流行したり、田畑に病害虫が発生する季節でもあります。

その当時は、「農民たちは毎晩夜明かしの灯をともし

て、無病息災・五穀豊稔を祈った」と伝えられています

が、時代とともにこの催しが祭の形態を成し、現在のような夏祭りとして定着したと考えられます。

### 六月灯

び、奉納踊りや花火大会等が行われるなど賑いをみせ、子供たちが奉納する灯籠には、スイカなどの夏の作物やマンガの主人公の絵が描かれています。

お近くで開かれる六月灯に行ってみてはいかがでしょうか？

町内で予定されている六月灯

7月7日(月) 御年神社 (大鷲巢)

7月15日(火) 東原守護神 (東原)

7月15日(火) 諏訪神社 (寺柱)

7月18日(金) 馬頭観音 (谷)

7月20日(日) 御崎神社 (梶山)

7月23日(水) 早馬神社 (蓼池)

7月25日(金) 稻荷神社 (山王原)

7月26日(土) 薬師堂 (梶山)

7月28日(月) かまど神社 (勝岡)

### 一般寄付

中米じゃんか馬保存会 代表 木下 盛夫 3万円  
早馬まつり時の寄付 3万円  
しゃくなげの森(池辺美紀) 車椅子借用お礼 3万円  
町社会福祉協議会へのご寄付ありがとうございました。

### 愛の「ご」寄付

町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次のとおり頂きました。

故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。

誠にありがとうございました。

平成9年5月1日から	平成9年5月31日まで
寄付者 続柄 故人名	地区金額
大盛 善春(次男) 五美 46	中米 2万円
福留 スミ(夫) 政信 79	前目 3万円
堀内 秋義(母) ヒメ 87	中米 3万円
桑畑 幸(夫) 則雄 78	下新 15万円
瀬尾 サ子(夫) 照明 63	梶山 3万円
馬渡 三男(姉) キヨ子 83	寺柱 10万円
福重 孝文(二男) 賢太 3	前目 3万円
上右 苧子(伯母) キヨ 87	谷 2万円
和田 善(母) 重子 69	西植木 5万円
神崎 保弘(妻) 静見 60	上新 3万円
中村 孝(母) 上村 全子 77	田上 3万円
木下 利丸(母) ウラ 92	勝岡 3万円

### 6月の納税 町県民税

詳しくは 役場税務課へ 52-1111

### 今後の献血の予定

■日時 7月2日(水) 午前9時20分～午後4時  
■会場 三股町役場  
■問い合わせ 役場町民生活課 ☎52-1111 内線112